

伝承すゝめ

第二十八号

を持つものと考えています。

世界遺産登録に向けては、構成資産の更なる環境整備や今後の活用について検討・推進することが必要ですが、それとともに古代から明日香に伝わる文化についても、多くの方に深め広めていくことも重要と考えられます。

明日香村の「伝統文化」と子どもたち

明日香村教育委員会
教育長 栢木正樹

明日香村伝承芸能保存会の皆様には、様々な機会を通じて明日香に伝わる文化の伝承にご尽力をいただき、本当にありがとうございます。

現在、明日香村は「飛鳥・藤原の宮都」として、2026年の世界遺産登録を目指しています。推薦いただいた資産は、大陸との緊密な交流のもと、日本においてはじめて生まれた、古代国家の宮都の遺産であり、東アジアの古代国家形成期において、律令国家が誕生した過程を示すことができる唯一無二のものです。我々人類にとって顕著で普遍的な価値



明日香の子どもたちには、日本人の心のふるさと明日香をよく知り、郷土を愛し、誇りを持って郷土を語る人になってもらいたいと考えており、幼小中一貫教育の中で授業「明日香学」とし

ての年間を通して取り組んでいます。「明日香学」の中では、明日香での古くからの言い伝えや風習などを受け継ぎ、そして次の世代へ伝えていくということも重要であり、「伝統文化」として明日香に暮らした人々によって、古代から受け継がれ伝えられてきた貴重な芸能文化を、明日香村伝承芸能保存会の皆様にもご協力をお願いいたします。子どもたちは学んでいます。子どもたちには、明日香の「伝統文化」を絶やすことなく次の世代へとつなぐことを期待するとともに、村内外の多くの方に様々な機会を通じて、広めてもらいたいと願っています。

明日香村伝承芸能保存会では、『古事記』に記されたスサノオノミコトが持っていた天の詔琴が起源と言われる「八雲琴」、古代、隋との交流で我が国に伝わり、中大兄皇子と藤原鎌足を結びつきかけとなった飛鳥寺で行われたとされる「飛鳥蹴鞠」、『日本書紀』から皇極天皇による雨乞いの祈りを伝えているとされる「南無天踊り」、『万葉集』に詠み込まれた古代人の心を伝える「万葉朗



2024年11月14日 明日香小学校

唱」の四つの伝承芸能を中心に活動されています。活動には明日香小学校、聖徳中学校の子どもも数名参加してくれていて、日頃の練習、明日香村の文化祭や保存会の互礼会での公演を始め、貴重な経験を積ませていただいています。

今後も明日香村伝承芸能保存会の皆様には、明日香村の子どもにも「伝統文化」としての伝承芸能を教えていただくことをお願いいたします。

八雲琴

八雲琴代表

杉藤榮子

昨年度と今年度上進式を行いました。それぞれ二名ずつに紫衣が授与されました。その四名の心得を載せさせていただきます。

今年度は中学二年生四名が総合学習で八雲琴を選択し、練習に励んでいます。また昨年度に続き、夏休み中の学童保育の子どもたちへの体験学習を通して、興味を持ってくれた小学二年生の児童が八雲琴を習い始めました。練習の時間は少ないですが、明日香村芸能祭、国営飛鳥歴史公園のイベント、名張子ども伝統芸能祭りで演奏しました。



2023年6月3日 上進式

八雲琴に魅せられて

石田易久子

今、私は八雲琴に出会えたことに感謝しています。退職してから自由気ままに過ごしていた時、友人に声をかけられました。

「毎週土曜日に、公民館で八雲琴の練習をしているけど、行ってみない？ 見学するだけでもいいよ。」と。しばらく演奏を聞かせていただき、二本の絃が奏でる音色に魅せられました。

そして、丁寧なご指導を受けながら、「互礼会」「芸能大会」で演奏を披露するようになりました。「長谷寺」「神奈備の里」「飛鳥宮跡」「平城宮跡」などの記念式典での演奏に参加し、貴重な体験をさせていただきました。

また、春と秋には、万葉文化館で定例公演を行いました。ピンク色の華やかな八雲衣を着て演奏するのが何だか嬉しく、うきうきします。

あれから十余年の月日が流れ昨年度(令和五年)

「八雲衣紫綬上進式」を催していただきました。高貴な紫の八雲衣



2024年8月17日 上進式

を身にまとい、代々受け継がれてきた曲を演奏していると、おごそかで別世界にいるような気がします。古代から千数百年の歴史が流れていますが、こんなに尊い遺産をより多くのの人に知ってもらいたい、後々まで大切に伝えていきたいとの思いを強くしました。

これまで、先生方や先輩の受け継がれてこられたことをしっかりと学び、八雲琴の音色が途絶えることなく、次の世代へと響きわたっていきますよう、日々努力したいと思っています。このすばらしい環境の中で、八雲琴を奏で、伝承していけることを幸せに思っています。

澄んだ音色

中島信江

私は、明日香村や万葉集が好きで、時間があれば、よく明日香村に来ていました。そのとき、「八雲琴をしてみませんか。」と声をかけていただきました。おけいこを始めてみると、澄んだ音色を出す、小さなかわいらしい八雲琴が、とても好きになりました。

先生方に教えていただいて、少しずつ演奏できる曲が増えていき、十年が過ぎ、昨年度(令和五年)おかげさまで、上進式を迎えることができました。

2025年3月6日 名張こども伝統芸能祭





2024年10月25日 聖徳中学校

今後は、この澄んだ音色をたくさんの方々に楽しんでもただけるように、いろいろなところで演奏し、また、これから八雲琴を始められる方のお役に立ちたいと思っています。

八雲琴の更なる発展を願って 野村昌代

この数年間、家族の病氣・入院、自分自身の手術などによって、おけいこを続けることができない状態が続いております。

そんな中、先生方のご厚意により、本日(令和六年八月十七日)上進式



2024年11月9日 キトラ古墳
国営飛鳥歴史公園 開園50周年イベント

のお許しをいただき、本当にありがとうございます。

感謝申し上げます。

十数年前、明日香小学校の八雲琴を習っていた児童が八雲琴と私をつないでくれました。同じ音に調弦した二絃の糸がかもし出す音色に心が震えたことを、きのうのこのように思い出します。

先生方に熱いご指導をいただき、演奏の楽しさ、表現の工夫の深さを学ばせてもらいました。

震琴先生が目指された東洋音楽としての八雲琴の更なる発展を願って、研鑽してまいりたいと思います。

八雲琴への心得

田中英理子

本日(令和六年八月十七日)は、私たちのために、このような厳粛な場を設けてくださってありがとうございます。十分な技術も知識も身につけることが出来ないまま、入門して十年を経たというだけで、上進させていただくことに、戸惑いを覚えています。

私は、明日香小学校に勤めていた頃、八雲琴とのご縁をいただきました。『古事記』や『万葉集』など、格調ある日本古来の歌謡と、素朴で幽玄な琴の音色との調和は、私の心の琴線に触れるものです。演奏するたび、新たな気付きがあり、八雲琴がもつ奥深さを感じることが出来ます。

この度 上進させていただき、紫の八雲衣を授与していただきました。これを励みに、山本震琴先生の思いと功績を受け継ぎ、この八雲琴の魅力を広く伝え、後世に残していけるよう精進していくつもりです。今後とも、皆様方のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



2024年8月9日 なら燈花会

定例公演

会場 奈良県立万葉文化館

前期 四・五・六月

後期 九・十・十一月

各月の土曜日に実施

時間 十三時半〜十四時十五分

万葉朗唱 第二土曜日

八雲琴 第三土曜日

南無天踊り 第四土曜日

飛鳥蹴鞠 (不定期)

高塚公園・石舞台公園



2024年11月10日 キトラ壁画館前

南無天踊り

南無天踊り研修旅行

清水雅子

私が一番最初に南無天踊りを知ったのは「飛鳥の民族」飛鳥民族調査会の本です。

飛鳥時代から遡ると、人々の水に対する稲作に対する祈り、魂の叫びを、この本を通して学んでいたのですが、寺西さんから、南無天踊りのすばらしさをお聞きしていたので、万葉文化館の中庭での公演を見に行きました。皆さんの熱意が感じ

られて、とてもすばらしかったです。本で読むのとはまた違った、伝える力があるなど感激し、また古代伝承の力を強く感じました。元来不器用な私が、入会させていただいて、皆様に迷惑をおかけしております。

二月十五日は研修旅行で、龍田神社、廣瀬大社、吉田寺の研修でした。各神社とも、稲作に結びつく風と水のお話を、神主さんからいただいたきました。

廣瀬大社の砂かけ神事は、二、三十年前、砂だらけになりながら、楽しくかけあったので、体が楽しかったと記憶しています。

吉田寺も、お釈迦様がお亡くなりになった日に、お参りしたので、南無天踊りの歌詞が、印象に残りました。

古川さんの段取りで南無天踊りの背景をたどるような、楽しい研修旅行でした。

南無天踊りの研修旅行について

令和七年二月十五日(土)

行き先

龍田神社(三郷町)風の神

吉田寺(斑鳩町)ぼくり往生の寺

廣瀬大社(河合町)水の神・砂かけ祭

国営飛鳥歴史公園

開園五十周年記念イベント出演

令和六年十一月九日・十日

明日香村伝承芸能保存会の四部門が出演しました。

万葉朗唱

「万葉朗唱講座」開講

万葉集を見つけたら、先ず目視して、言葉の切れ目を整理(五・七・五・七・七)して、声に出して、読んでみるのが万葉朗唱です。

明日香幼稚園・明日香小学校聖徳中学校の御父兄の皆様、お子様が通学中の時間に体験してみませんか？

一般のお方も、ご参加ください。

時間 九時三十分～十一時

会場 明日香村中央公民館

二階研修室(会費無料)

曜日 第一水曜日

教材 「明日香村の万葉歌碑を歩く」のパンフレットは、役場の文化財課に有ります。

飛鳥蹴鞠

次号に掲載予定

「伝承あすか」第二十八号

発行 令和七年四月

明日香村伝承芸能保存会

会長 脇田初枝

編集 明日香村伝承芸能保存会
題字 「伝承あすか」勝川喜昭書



2024年11月9日 キトラ古墳壁画館前